

令和5年度 部局経営目標

年度	令和5年度	作成日	令和5年4月1日
部局名	教育委員会	部局長名	武村 良江
(1) 部局の役割・使命（ミッション）・経営方針			
<p>1. 一人ひとりの可能性を広げる【No.4：質の高い教育をみんなに】【No.10：人や国の不平等をなくそう】 共生社会実現のため、誰もが互いに認め合い、尊重され支え合う中で、それぞれの可能性を伸ばす取組を進めます。また、ライフステージに応じた学びを推進し、生涯に渡り学び直しと学びが継続できる取組を進めます。 SDGsの「誰一人取り残さない」社会の実現のため、誰もが安心して教育を受けることができるよう、貧困・障がい・不登校など様々な要因による学びの格差解消や、子どもたちの学びと居場所を支える「学びのセーフティーネット」を構築していきます。また、少子化が進む中で小規模化する学校の学びを広げるため、直接、間接の学校間・校種間の交流を進めます。さらに、保育園・こども園・幼稚園から小学校・中学校さらにその先へつながっていく学びの連続性を重視し、切れ目ない支援を充実させていきます。</p> <p>2. 真庭を愛する「ひと」、心豊かな「ひと」をつくる【No.4：質の高い教育をみんなに】【No.11：住み続けられるまちづくりを】 真庭の多彩な地域資源（自然・生き物・風土・歴史・伝統など）を活用しながら、ふるさとに対する誇りと豊かな人間性を育み、創造的な活動へつなげていきます。また、人の繋がりの中で学ぶことを大切に、思いやりや優しい心を育む取組を進め、子どもの心豊かな育ちを支援します。そのために、地域文化を伝承していく人材育成や、地域のことを考える学びを推進していきます。さらに成長の段階で地域貢献を考え、実践する中で自己有用感を高め、地域でいきいきと活躍できる人づくりを進めています。</p> <p>3. 教育を地域で支える仕組みをつくる【No.4：質の高い教育をみんなに】【No.17：パートナーシップで目標を達成しよう】 安全安心な学校生活の環境を整えていきます。給食については、地元食材を使った食育と郷育を進めています。社会に開かれた学校教育として、地域がスポーツや文化の面からも学校活動を支える仕組みづくりや、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）及び地域学校協働本部の設立を推進し、市長部局と連携しながら学校と地域が育てたい子ども像を共有しながら地域の教育力を高めています。 家庭教育においては、豊かな心や社会性を育むような成長の支援を目指し、地域ぐるみの子育て支援を行なっています。 また、多様な教育環境や持続可能な地域を目指し、市民が学びつながっていく場の整備や、デジタル化・ネット環境整備、高校の魅力化を進めています。</p>			
(2) 事業成果目標			指標名及び目標値
<p>1-1 教育振興基本計画の重点的施策の目標達成 ・真庭市の教育の目指すべき姿と、その実現のために実施すべき基本施策を示す「真庭市教育振興基本計画」の第3次計画を令和4年3月に策定しました。 本計画では、第2次総合計画改訂版に沿って、「地域循環共生圏」、「SDGs」、「共生社会」、「学校と地域との連携」及び「高校の魅力化」の推進の観点から点検・検証し、必要に応じて見直しを図ります。</p>			<p>指標：重点施策の実施点検 目標値：審議会点検1回/年 (令和4年度実績値：1回)</p>
<p>1-2 授業改善による学力向上 ・児童生徒が主体となる授業を目指します。児童生徒が自ら課題を明確にもち、問題を解いたり、他者対話をしたりする時間を確保するよう、授業改善を進めています。「自律性」「有能感」「関係性」の視点を取り入れた授業を目指し、指導主事、授業改革推進員等による「授業づくり」についての研修を実施し、各校における校内研究の充実を図ります。これらの取組を通して、児童生徒の学習に対する興味・関心を高めています。</p>			<p>講師を招聘した校内研究を実施した学校数 目標値：26校（全校） 指標変更 (令和4年度実績値：－)</p>

<p>1-3 ICT環境の整備（GIGAスクール構想の実現）</p> <p>・ICTを活用し、個別最適化された学び、創造的な学びの実現に向け、端末を活用した授業が日常化していくことを目標に取組を推進します。児童生徒による端末の活用頻度を高めるために、次の3つの姿を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すべての児童生徒が1日1回以上端末を活用して学習している。 ・すべての学校で端末の共有機能を活用した授業実践を実施している。 ・すべての学校で1週間に1回以上は端末の持ち帰りを実施している。 <p>・児童生徒による端末活用を進めるとともに、活用事例を交流し、効果的な活用の方法を広めます。</p>	<p>指標：学校情報化認定に取り組んだ学校数</p> <hr/> <p>目標値:26校（全校）</p> <hr/> <p>指標変更 (令和4年度実績値：－)</p>
<p>1-4 インクルーシブ教育の推進</p> <p>・真庭市が目指す「共生社会の実現」に向け、引き続き小中学校においてインクルーシブ教育を推進します。通級指導教員を核として、小中学校の通常の学級において特別支援教育の視点を取り入れた授業改善についての研修を推進し、特別支援の視点を生かした授業づくり及び学級集団づくりを進めます。さらに、発達発達支援センター、特別支援学校等、専門的な知識を持った機関と連携し、切れ目のない支援体制を構築することで、すべての児童生徒が安心して学ぶことができる学校づくり・学級づくりを支えます。</p>	<p>指標：学校が楽しいと回答する児童生徒の割合</p> <hr/> <p>目標値:小学校90%、中学校85%</p> <hr/> <p>指標変更 (令和4年度実績値：－)</p>
<p>1-5 義務教育課程の学び直しを実施</p> <p>令和4年3月に策定した第4次生涯学習基本計画で掲げた目指す姿「市民誰でも等しく学び、幸せを実感できる社会」より</p> <p>誰もが学びたいときに安心して学ぶことができる社会づくりの一翼を担うことを目指し、大人を対象に、国語や算数などの義務教育の学び直しの講座を教員OBなどと連携して開催します。また、学ぶ機運を盛り上げるため周知活動を積極的に行います。</p>	<p>指標：社会人の学び直しの講座開催</p> <hr/> <p>目標値:10回/年</p> <hr/> <p>(令和4年度実績値：9回/年)</p>
<p>1-6 学校施設のトイレ環境の向上（拡充による指標変更）</p> <p>・令和5年度は前年度に引続き、トイレの自動手洗い水栓化、非接触照明化、シャワー洗浄機能付き便座への改修によりさらなる衛生環境の向上を図っていきます。</p> <p>令和5年度小学校7校（北房、落合、天津、木山、川東、檉邑、余野） 令和6年度中学校4校（北房、落合、久世、蒜山）：2校は実施済</p>	<p>指標：非接触及びシャワー洗浄機能化達成率</p> <hr/> <p>目標値:100%（小学校：13/20校→20/20校）</p> <hr/> <p>(令和4年度実績値：65% 小学校：13/20校)</p>

<p>2-1 キャリア教育の推進（教育魅力化推進事業）</p> <p>・郷育を核としたキャリア教育の更なる推進に向け、学校と地域との連携強化を支えます。郷育及びキャリア教育の情報提供、研修の実施等を通して、児童生徒の地域に対する誇りや愛着を醸成するとともに、地域や社会への貢献意欲をさらに高めていきます。また、全校に配布したSDGsスタートブックや、AR（拡張現実）アプリケーションを郷育の成果を発信するツールとして活用し、学校と地域が連携し、協働的に学習を推進していくことを目標に、取組を進めていきます。</p>	<p>指標：地域や社会をよくするために何をすべきか考えると回答する児童生徒の割合</p> <p>目標値：小学校75%、中学校60%</p> <p>(令和4年度実績値：小学校74%、中学校56%)</p>
<p>2-2 地域の文化遺産を活用できる体制の整備</p> <p>令和4年3月に策定した第4次生涯学習基本計画で掲げた目指す姿「市民が学びの成果を生かし、活躍し、心豊かな暮らしを実現する社会」より</p> <p>・地域住民や同志社大学との協働による荒木山西塚古墳の発掘調査を実施することで、発掘調査としての成果をあげつつ、文化遺産等の地域資源を活用した地域づくりの実現を目指します。</p>	<p>指標：住民参画人数</p> <p>目標値：500人</p> <p>(令和4年度実績値：700人)</p>
<p>2-3 子どもたちへの体験活動の実施（教育魅力化推進事業）</p> <p>令和4年3月に策定した第4次生涯学習基本計画で掲げた目指す姿「市民が学びの成果を生かし、活躍し、心豊かな暮らしを実現する社会」より</p> <p>・自然豊かな真庭市でも、近年子どもたちの屋外での体験活動は減少していることから、地域住民と子どもと一緒につくり続ける「遊び場づくり」の運動を進め、子どもの体験機会の充実と大人の顔が見える関係づくりを支援します。</p>	<p>指標：モデル的ア・レパーク開催</p> <p>目標値：5回以上</p> <p>新規</p>
<p>3-1 市内高校進学率の向上（教育魅力化推進事業）</p> <p>高校は、真庭の未来を担う子どもたちのより良い成長はもちろん、活気があり持続可能な地域をつくる上でも大切な役割を果たしています。</p> <p>令和4年度は「高校魅力化推進事業」として取り組んできましたが、令和5年度からは「教育魅力化推進事業」の中に組み込み、義務教育や社会教育と合わせ一貫性を持って取り組んでいきます。</p> <p>令和5年度は以下に取り組めます</p> <p>・高校応援市民会議：校地毎の応援機運の更なる醸成を図るとともに、スクールポリシー等校地が掲げるビジョン実現のための応援体制の構築を目指します。特に真庭高校は採択中の国のマイスター・ハイスクール事業が最終年度となることから、継続的な応援体制を構築します。</p> <p>・受入態勢整備：勝山高校蒜山校地の受入施設について令和7年度開設を目標に準備を進めます。</p> <p>・2高の管理職が顔を揃えての市教育委員会との定期的情報交換・意見交換及び課題解決策を模索する場を設置します。</p>	<p>指標：①市内高校進学率、②各校地応援組織の設立、③2高連携事業の実施</p> <p>目標値：①70%、②3校地、③1事業</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値：①49.6%、②1校地、③-)</p>

<p>3-2 学校給食の地産地消の推進</p> <p>・学校給食を「郷育」の一環と位置づけ、児童生徒と農業者を繋げ、食材を通じた真庭の豊かさを知る機会を提供します。真庭市の食材のみを使用した「真庭食材の日」、通常の給食に真庭市の特産品を一品加える「真庭特産品プラスワンの日」を実施し、その評価により課題を検証し地産地消の推進に努めます。（5品目＝じゃがいも、玉ねぎ、大根、キャベツ、にんじん）</p> <p>また、学校給食の材料に真庭市産品を使うことで市内での回る経済の仕組みをつくります。そのため、給食における市内産品使用について全量調査を行いながら生産者や納入業者などと安定した価格設定について協議を行い、目標値達成に向けた食材調達確保に努めます。</p> <p>・給食材料に真庭市産品を使うことと併せて、生産者による講話の機会を通じて児童生徒と地域をつなげながら食育と郷育を進めます。</p> <p>参考：「真庭食材の日」：3回／年。「真庭市特産品プラスワンの日」：6回／年。</p>	<p>指標：5品目の地産地消率</p> <p>目標値:34%</p> <p>(令和4年度実績値：31%)</p>
<p>3-3 地域と協働する学校づくり（教育魅力化推進事業）</p> <p>・地域と共にある学校を目指し、中学校区及び市全体での連絡会の実施します。連絡会では、研修による先進事例の共有や、運営協議会ごとの情報交換を通して、更なる活動推進を図ります。また、学校運営協議会の運営について、熟議のワークショップや先進校の取組紹介を行うなど、伴走支援を行っていきます。</p>	<p>指標：地域が参画する熟議の機会を設けた学校数</p> <p>目標値:26校（全校）</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値：－)</p>
<p>3-4 地域学校協働活動の推進（教育魅力化推進事業）</p> <p>・令和4年3月に策定した第4次生涯学習基本計画で掲げた目指す姿「市民が真庭を愛する心を育み、つながりあい、地域創造できる社会」より</p> <p>・地域全体で子どもを育み、教育の質向上と地域の活性化を図るため、統括的な地域学校協働活動推進員の設置等を行い、地域と学校が連携・協働する仕組みづくりを強化します。</p>	<p>指標：地域学校協働活動推進員をつなげる統括的な役割を担う人の設置</p> <p>目標値： 2人</p> <p>指標変更 (令和4年度実績値：－)</p>
<p>3-5 真庭中央食育センターを活用した食育の推進</p> <p>・真庭中央食育センターにおける衛生管理・調理工程や地場産物の活用、行事食・郷土料理などを取り入れた取り組みについて、児童生徒や保護者、地域などの幅広い年齢層の方々を対象として、1ヶ月に1回10～20人程度募集し見学会を実施します。なお、学校行事等クラス・少人数の学年単位での見学会は随時受け付け、中学生の職場体験・高校生とのコラボ・大学生の臨地実習なども積極的に対応します。また、学校給食では栄養教諭等を2ヶ月に1回程度集めた研修会、夏期休業中を利用し栄養士・調理員の衛生研修・調理講習を行い、真庭のオリジナル共通献立の作成に取り組みます。</p>	<p>指標：施設見学・研修会参加者</p> <p>目標値:300人</p> <p>(令和4年度実績値：223人)</p>

<p>3-6 真庭市図書館みらい計画の推進</p> <p>「真庭市図書館みらい計画」で示す、「真庭市立図書館は、市民や団体による地域自治の拠点として積極的な役割を果たす」という使命を達成するため、5つの柱（1.公共図書館としての存立基盤の整備、2.子どもの学びへの能動的な貢献、3.地域資源の再評価と新たな価値の創出、4.利用者の知的探究に応えるコンテンツ提供、5.市民が繋がる地域の交流拠点創出）を実行し、市民の「知る自由」や「学ぶ権利」を保障していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「真庭市図書館みらい計画」策定にあたって開催した「図書館そだて会議」を引き続き開催し、市民と図書館が対話を重ね、市民とともに図書館の運営状況を確認し、図書館を育てていきます。 ・公共図書館と学校図書館の蔵書管理システムを連携することで、真庭市内全図書館の蔵書の検索が可能となり、学校での有効な活用につなげていきます。 ・市民が蔵書の貸し借りだけでなく、図書館が気軽に集える場所となるよう、工夫をこらしたイベントを開催していきます。 	<p>指標：①実貸出利用率 ②「図書館そだて会議」の開催回数</p> <p>目標値：①13%②7回以上</p> <p>(令和4年度実績値： ①11.1% ②10回)</p>
<p>3-7 学校施設照明LED化</p> <p>本市は、「2050ゼロカーボンシティまにわ」の実現を目指し、管理施設は省エネ機器への更新を推進することとしている。しかし、生産終了した水銀灯を使用している屋内運動場がある。環境負荷の低減、維持管理費の節減、脱炭素のまちづくりを一層加速させ、電気代や維持管理経費の節減を図るためにも屋内運動場照明のLED化を計画的に実施する。（北房小、落合小、天津小、木山小、美川小、河内小、川東小、湯原小、落合中は整備済み ※川上小は改修工事で実施予定）</p> <p>令和4年度から令和8年度までに全校（小学校11校、中学校5校）を整備</p> <p>令和5年度 工事：小学校11校屋内運動場 (遷喬、草加部、米来、檜邑、余野、勝山、月田、富原、美甘、中和、八束) 工事：小学校1校校舎棟(川上) 設計：中学校5校屋内運動場 (北房中、久世中、勝山中、湯原中、蒜山中)</p> <p>令和6年度 工事：中学校5校屋内運動場 (北房中、久世中、勝山中、湯原中、蒜山中)</p>	<p>指標：校舎、屋内運動場照明LED化</p> <p>①小学校屋内運動場 ②小学校校舎棟 ③中学校屋内運動場 ④中学校校舎棟</p> <p>目標値： ①小学校屋内運動場11校 ②小学校校舎棟1校 ③中学校屋内運動場0校 ④中学校校舎棟0校</p> <p>(令和4年度実績値：R4年度は設計のみのため実績は計上せず。)</p>